

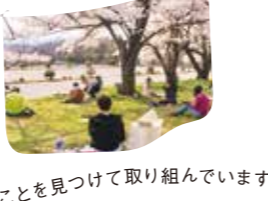


子どもたちの「やりたい」を大切に
子ども一人ひとりに合った環境を整えたいという思いから生まれたイベントを実現♪

- ・はぐルッポ
週2回、水曜と金曜と月1回月曜の13:00~17:00
週内や屋外で自由に遊ぶことができます。
- ・はぐスタ(勉強をする日)
月に2~3回・木の14:00~17:00
子どもたちの「勉強がしたい」から始まった勉強だけ
をする日です。
- ・ボルダリング
偶数月の最終金の14:00~16:00
努力してゴールをする達成感を感じるために始めた
ボルダリング。子どもも楽しんで挑戦しています。
- ・はぐ茶
奇数月の最終水 15:00~17:00
先生に来ていただき、茶道の体験をしています。
個人的に茶道を始めた子どももいます。

- ・はぐスポ 毎週水
子どもが元気になってきて身体を動かしたくなり
始まりました。体育館を借りて思いきり楽しんで
います。
- ・はぐルッポ旅行 年2回
修学旅行に行ったことのない子どももいて、みんな
どこかへ行きたいという子どもたちの声から始ま
ったイベントです。
- ・はぐルッポ卒業式
子どもの希望がある場合は、学校や保護者と調整を
して、はぐルッポで卒業証書授与式を行っています。
- ・その他、クリスマスやハロウィンなど季節の行事
・畑・おやつ
はぐルッポの庭では畑を作っています。その収穫物を
おやつにします。皆で一緒に料理をして皆で一緒
に食べています。

- ・子ども作品の販売
子どもたちの作った帽子やアクセサリなどを毎年
フリーマーケットで販売しています。購入されると喜び
を感じ、自信もつきます。
- ・文集「はぐルッポ」
子どもから始まった親の会。子どもにとって
保護者の声から始まった親の会。子どもにとって
よりよい環境にするためにスタッフと保護者が一体と
なって取り組んでいます。



自分たちでやりたいことを見つけて取り組んでいます



[巻頭特集]

ありのままの自分が大切にされる場所
はぐルッポ



子どもの支援・相談スペース「はぐルッポ」
は、不登校、不登校傾向や、さまざまな理由で、
学校へ通うことができない子ども、学校へ行っ
ても苦しい思いをしている子どもに、居場所
の提供、相談・学習支援などを行っています。

また、保護者の相談・支援も行っています。
2013年5月に開設をして、今年で8年目を迎
えました。施設は6畳の事務所と、続きの6畳
2部屋の狭い平屋です。



はぐルッポ代表の西森尚己さん

悩む保護者の
相談から拓ける道

「はぐルッポ」には、まず保護者が
相談に来て、そのあとに子どもを
連れてくるケースが多いです。
子どもが不登校になると多くの
場合、保護者や学校は「なぜ」と追及
します。いじめや友だち関係、教員と
の関係、学習の遅れ、家庭環境など、

原因を推測し、「どうしたら学校へ
行くことができるのか」と対処法を
考えます。

子どもたちは、「なんとなく学校
がイヤだ」「学校へ行くと疲れる」「
「クラスの雰囲気嫌い」などと、
曖昧な答え方をします。おそらく
本当のところはもっと複雑で、子
どもたちもよくわからない、表現し
にくいものなのでしょう。

子どもは学校へ行けないことに
負い目を感じ、自分はダメな子、悪い
子だと思っていて、さらに自己肯定
感が低くなっていきます。

保護者はずっと家にいる我が子
を見ながら、「このままでは引きこも
りになるのではないか」「うちの子
どもはもう将来がないのではない
か」「勉強をしないのでこれ以上休む
と、高校へ行けないのではないか」
、「どうしてうちの子が……」と思い、
他の子と比べ、落ち込み、悩んでいま
す。自分の育て方が間違っていたの
ではないかと悩んだり、周囲の目も
気になり苦しんでいる場合が多い
です。まずは気軽に相談に来てほし
いと思います。

「ありのままの自分でいい」
はぐルッポの理念

はぐルッポは学校へ行くことを
目的としていません。

誰もがありのままの自分でいら
れて、言いたいことが言え、安心
して失敗することのできる、そんな
と思います。

言葉にならない思いを受け止める
こと。それはある意味自分たち大人
も、子どもたちと一緒に不完全な
自分を確認していくことなのだ
と感じています。

はぐルッポという場所の力を信じ
て、子どものいのちを真ん中に、保
護者でも先生でもない私たちができ
ることをぶれずにやっていきたい
と思います。

今では、子どもたちだけでなく、
ボランティアの学生が、子どもと
遊びながら、「自分の居場所になっ
ていることに気づいた」と言ってく
れました。

現在、企業の皆さまや「おてらおやつ
クラブ」の方など多くの地域の皆
さまに温かなご支援をいただいで
います。ここへ通う子どもたちも
増え、施設も手狭になってきていま
すので、もっと多くのスタッフと
広いスペースがあればと思ってい
ます。

あなたも「はぐルッポ」で支援のお手伝いをしませんか？
子どもたちの自由を尊重してとても明るい現場です♪
ご興味のある方はお気軽に電話やメールでお問合せください!!



| | |
|---------|---|
| 住所 | 松本市旭3-2-21 |
| TEL/FAX | 0263-31-3373 |
| Eメール | hugmatsu@sky.plala.or.jp |
| URL | https://www.hug-matsu.jp |
| 活動日時 | 毎週水・金、月1回月、月2回木 月・水・金 13:00~17:00 木 14:00~16:00 |
| 相談受付 | 随時 |
| 対象者 | 不登校・不登校傾向の児童生徒、 悩んでいる保護者等 |
| 対象年齢 | 小学1年生~高校3年生、保護者 |
| 支援内容 | ・はぐルッポ 毎週水・金、 月1回月13:00~17:00 ・はぐスタ (学習したい子どもが勉強する日) 月2回木14:00~16:00 ・はぐスポ (体育館で遊ぶ時間) 毎週水 13:00~15:00 |
| ボルダリング | 隔月第3金、市内施設利用 |
| はぐ茶 | 隔月第3水、茶道を習う日 |
| 料金 | 無料 |
| 問い合わせ方法 | 電話、FAX、メール |



三協電気工業株式会社

三協電気工業株式会社とリニア電気工業株式会社ははぐルッポの応援企業です。
2020年4月には新型コロナウイルス禍で苦しむ子どもにお弁当の無償配布を行いました。



Linear Electrical Company
リニア電気工業株式会社



大学生ボランティアと勉強をする子どもたち

環境を子どもと一緒に作っています。
指導やルールを敷くのではなく、子ども
から必要とされる時にサポート
するということです。その子が自分
で考え自分で決めて、一歩を踏み
出す。そのエネルギーを育むお手伝
いをしていきます。

発足当時は周りからの抵抗が
強くありました。学校復帰を考え
ないなんてもってのほかかだ、そん
な楽しいばかりのところに行っ
たら、学校へもっと来られなくなる
のでは、と多くの批判もあり切ない
思いもしました。

でも傷ついている子どもたちに
とっては、自由に遊んだり、ボー
ーしたり、悩んだり、何もしないで
いることだって保障される、学校と
家との間の秘密基地のような場所
があった方がいい。何をやるので
なく、ただ「居たい場所」が必要だ
と考え、それを信念としてやって
きました。結果として学校へ行く子
はとて多いのです。